



Autonomic Nerves Therapist course

Basic ③-1

神経・筋膜の機能解剖

日本アレルギーリハビリテーション協会 代表
アレルコア 代表 理学療法士
及川 文宏



©JARA 無断使用・転載禁止



Basic③— 1

- 神経・筋膜の構造と機能
- 神経の働きに影響を与えるもの
- 神経における3つの問題と解決策
- 神経・筋膜への介入が必要な状態
- 神経・筋膜のトラブルの見つけ方
- 自律神経が乱れる原因
- 交感神経ストレッチ



神経の働きに影響を与えるもの

• **神経内の血液循环** (出入り)

• **神経の弾性**

脂肪・結合組織、神経内・外・周膜

• **神経周りの組織** (関節的に)

位置や動きを含めた状態



神経・筋膜のトラブルの見つけ方

• Self Screening

上肢のセルフチェック

• Tension Test

Global Test , Specific Test

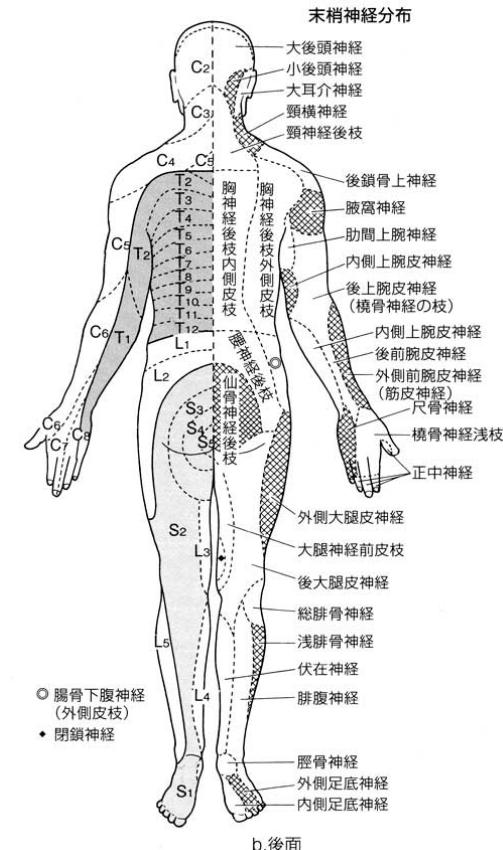
・症状の出ている部位

温度（冷え・ほてり）、痺れ、痛み

皮膚（発赤、発汗）、蕁麻疹など

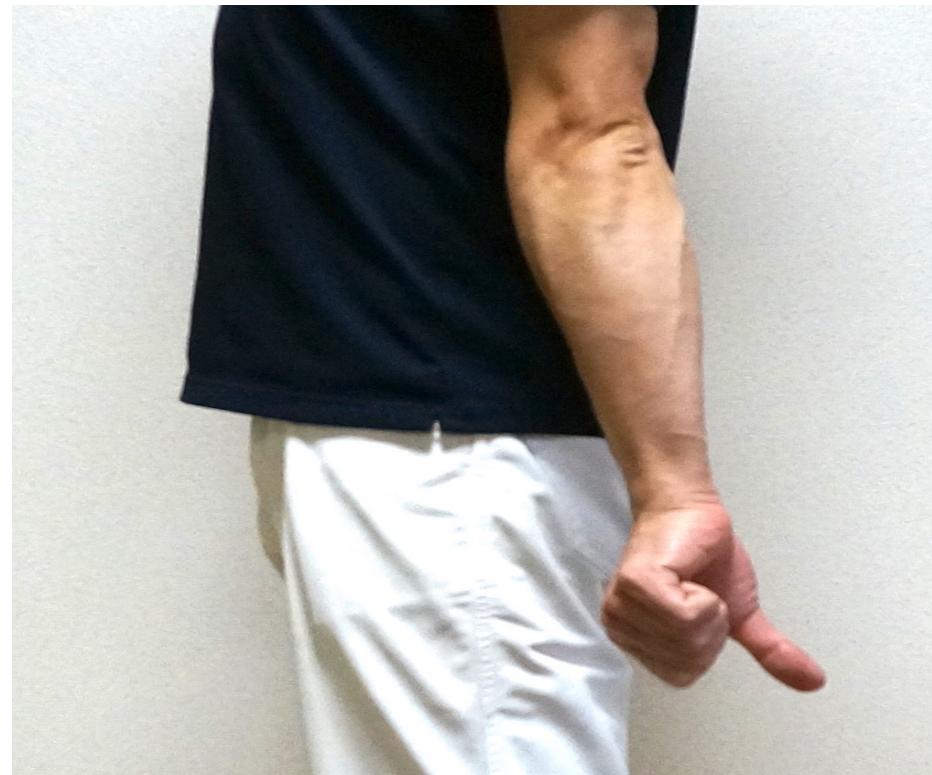
• 触診

神経、筋・筋膜、皮膚など





橈骨神經





交感神経

- T1-2 胸髄
⇒ 口渴や眼窩の痛みや疲労感に関わる
- T3-4 胸髄 ⇒ 心臓をコントロール
- T3-6 胸髄 ⇒ 上肢
- T7-12 胸髄 ⇒ 下肢
- 腹部臓器 (T5-12) 、 骨盤臓器 (L1-2)
⇒ 腹部と骨盤内の臓器へ